学校番号	1206

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）自己表現（書道編Ⅰ）	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	書Ⅱ（光村図書）						
副教材等	くらしのペン習字（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年次で学習した内容の基礎をもとに、他教科との横断的な豊かな幅広い表現方法を身につける。お互いの個性を認めあう鑑賞力やそれを表現するための言語能力を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、創造的に構想を練り、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を深く味わい捉えたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式、書表現の多様性が書の創造的活動を通じて理解できる。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	・書の伝統と文化に豊かに関わり主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	隷書の学習草書の	様々な隷書の古典と技法を学ぶ 隷書を創作した団扇を作成	a:書体の歴史、用筆・運筆法を理解し、身に付ける。 b:それぞれの古典の風趣の違いを捉え、表現を工夫する。（表） c:主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
	草書の学習	様々な草書の古典と技法を学ぶ	a:書体の特徴を理解し、用筆・運筆法を理解し、身に付ける。 b: :それぞれの古典の趣を捉え、表現を工夫する。（表） c: 主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
後期	刻字の学習	漢字一字を五書体のいずれかで創作し、木に刻す	a:用具用材の特徴と表現効果を理解し、身に付ける。（知） b:全体の構成や、用材による風趣を感受し、意図に基づいて創造的に個性豊かに表現を工夫する。 c: 主体的に表現の創造的活動や鑑賞活動に取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度 鑑賞レポート
	仮名の学習	様々な仮名の古典と技法を学ぶ	a:用具用材の特徴を理解し、用筆・運筆から生み出される表現に必要な技術を身に付ける。（技） b:仮名の書の美しさを感受し、意図に基づいて全体構成や線質について表現を工夫する。（表） c: 主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度
	漢字仮名交じりの書の学習	「自分を向上させてくれることば」を創作	a:用具用材や表現方法による書の多様性を理解し、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。 b:創造的な書のよさを感受し、意図に基づいて表現しようと工夫する。（思） c: 主体的に表現の創造的活動や鑑賞活動に取り組もうとしている。	作品	作品	授業態度 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度